

謡森鈴音 *Suzune Utamori*

露出体験告白1

イキすぎた公開絶頂

局部まで透けたランニングウェアで街を走り、美術ヌードモデルで性器を大きく開いて見せ、混み合うホテルのロビーを全裸で歩いて……

10人の露出痴女が告白する、逮捕すれすれの過激体験談！

体験版

もくじ

露出目的で出たマラソン大会で、セパレートの白ユニフォームが濡れ透

けて……（陽菜・18歳・大学生）

絵のヌードモデルをしているうち、なにかも見せたくなくなって性器まで
広げ……（彩乃・28歳・看護師）

全体の施術中にきわどい服装で胸や股間をちらちら見せてアピールして
たら……（舞・25歳・主婦）

自分の性器を大写しにした写真を全校生徒の下駄箱に入れて間接的に露
出を……（美織・19歳・専門学生）

デリバリーを全裸で受け取り、ドアを全開にしてもたまた対応している
うち……（琴音・22歳・ショップ店員）

転校先の学校でひとりだけブルマ姿で過ごし、恥ずかしくて、気持ちよくて……（真央・37歳・パート）

ベランダで作業中の男性に窓越しに全裸を見せつけ、さらにはオナニーまで……（杏・18歳・家事手伝い）

女子高生のふりをして、ほとんどパンツ丸出しの超ミニ制服で露出街歩きを……（夏芽・27歳・アルバイト）

無性に見られたくて、さわられたくて、性器に指を入れてもらいに婦人科へ……（優花・23歳・会社員）

オートロックで締め出されたふうを装い、混み合うホテルのロビーへ全裸で……（葵・24歳・デザイナー）

露出目的で出たマラソン大会で、セパレートの白ユニフォームが濡れ透けて……

(陽菜^{ひな}・18歳・大学生)

きっかけは高校のころ、友だちが出た陸上の大会を観にいったことでした。その子が学校や周辺を走ってる姿はよく見かけてたんですけど、いつも体育着とかジャージとかだったので、ユニフォームを着ているところはそのときにはじめて見ました。

(あんなあちこち露出しちゃうんだ……)

うちの学校の陸上部が着ていたのは赤いセパレート型のもので、おへそも見えてるし、レーシングパンツはほとんど下着か水着みたいで脚なんてぜんぶ丸出しだし、走ってるとお尻もぷりぷりはみ出してきちゃってるし、すっごくエッチだと思ったんです。そんな格好で競技場を走るのだから恥ずかしいのに、マラソン大会とかだと街のなかを走ることもあるわけじゃないですか。もし自分が同じようなユニフォームを着て、外を走ったら……なんて想像したら、急にむらむらしてきちゃって。

少ししてから、バイト代でユニフォームを買ってみました。できるだけ上も下も面積の少ないものを探して、色は白を選びました。大会に行ったとき、ほかの学校が白いユニフォームで、いちばんエッチに見えたからです。完全に主観ですけど。

さっそく届いたものを着て鏡にうつしてみたら、想像以上にいやらしくて、自分の身体なのにすごく興奮しちゃいました。

トップスはおっぱいのちよっと下までの丈で、大きい胸がふだんよりもいっそう強調されて見えました。パンツは小さめで、ゴムの位置がおへその一〇センチ下くらい。けっこうハイレグ気味なんですけど、別にコスプレ用の過剰なやつとかじゃなくて、有名なスポーツメーカーのものなんです。

(これで外を走ったら……)

想像するだけで濡れるくらいだったので、本当にやったらとんでもなく気持ちいいんだろうな、と思いました。

でもそのユニフォーム、わたしがプライベートで着ていた水着よりもずっと露出が大きいし、まさか実際に外でなんて着られないなって、そのときはあきらめました。

受験も近づいてて余裕もなかったし、たまに着てみて、鏡にうつった自分を見なが

らオナニーして気分転換するくらいでした。

それから無事に大学に入れて、最初はばたばたしてたんですけど、夏休みになるとだいぶ余裕もできてきて。それでなんとなく部屋の整理をしてたら、しばらく忘れていたそのユニフォームが出てきたんです。

見た瞬間、これを着て外に出たい、と思いました。

大学進学を機に親元から離れてひとり暮らしを始めて、わりと近所に大きめの公園があつたんです。そこには公園を一周するジョギングコースがあつて、あそこだったらこういう本格的なのを着てても、陸上部員の練習とかがあってくれるんじゃないかって考えました。

いてもたつてもいられなくて、とりあえずひさしぶりにユニフォームを着てみました。

(ついにこのカッコで外に出ちゃうんだ……)

さんざんオナニーで使ってきたものなので、わたしにとってはエッチなおもちゃと変わらないような存在です。それを着て外に出て、人に見られて……そんなの、ほとんどオナニーを見られるのと同じだって思いました。

さすがに家から着ていくのは無理なので、上から適当なワンピースを羽織って、さっそく公園へ出かけました。

しばらくはどきどきしてワンピースを脱げなくて、意味もなく公園をうろついてたんですけど、そのうちに気づいたことがあります。

（これ、脱ぐのはいいけど、どこに置いておいたらいいんだろう……）

小さいバッグは持ってたけど、それも含めて、放置するわけにはいかないの……。（もし持っていかれちゃったら、このカッコのまま家に帰ることになっちゃうってことだよ……）

ちよつと想像して、やっちゃおうか、やめておこうかと、あそこをうずかせていたとき、小さな建物を通りかかりました。そこに更衣室があつて、ロッカーを一〇〇円で借りられることがわかったので、ちよつと残念な気もしながら、お財布やスマホもあつたので、そこに預けていくことにしました。

更衣室でワンピースを脱いでユニフォーム姿になると、大きな鏡にうつった自分を見て、たまらなくなりました。

（このカッコ、知らない人たちに見られちゃうんだ……）

みんなどう思うんだろう。

熱心な陸上部員だとほほえましく思ってくれるかな。

それともわたしがそうだったみたいに、エッチな目で見られちゃうのかな。

緊張と期待を抱いて、わたしは外へ踏み出しました。

瞬間、ぞくぞくぞくっと全身が小さく震えました。

(気持ちいい……)

ほとんど水着か下着みたいなカッコで、海でもプールでもない、木に囲まれたふつうの公園に立って、腕も、おへそも、両足も丸出しで、露出しているとところぜんぶに夏の空気と風がふれて、感じたことのない気持ちよさに包まれました。

もともと私服でも肌を出すことの少ないぶん、開放感がものすごくて、それと同時に露出してるんだって実感も強烈にあって、一気にいやらしい気分になりました。

軽く走りだすと、ますます全身に外の空気を強く感じて、たまりません。いつもは苦手な夏の陽射しにも、このときは気持ちよさしか感じませんでした。ふだんは隠れてるおへそや太ももを日光で照らされると、肌の白さがいつそう際立って、それがまたすごくエッチに見えました。

コースを半周くらいしたら、興奮しすぎてたせいもあってすぐにバテちゃって、そこからゆっくり歩いていきました。

走ってるときは気にならなかったんですけど、歩いてるとすれ違う人の視線がはっきり感じられて、恥ずかしいカッコを見られてる実感に、ますます濡れていきました。その日はもう一周するのが限界で、まっすぐ更衣室に戻りました。ロッカーに向かって、いつつ大きな鏡のまえを通りかかって、

(うそ……こんなことになってたの……?)

うつった自分の姿に、愕然としました。

汗をかいたせいで白いユニフォームが肌にびっちり張りついて、ところどころうすらと透けていたんです。おっぱいの形もいつそう強調されてるし、お尻にもあそこにも布が深く食い込んで、お尻は左右ともけっこうはみ出しちゃってて、あそこもくつきりスジが浮いてて……おまけに濡れすぎて、しみまでできてしまっていました。

そうして気づいたんです。いつもオナニーするときの習慣で、上下とも下着をつけていなかったことに。水着や下着みたいどころか、それと同じ条件で、素肌に布を二枚貼りつけただけで外を歩いてたんだってことに。

(そんなのエッチすぎるよ……)

こんな姿をたくさんの人に見られたんだと思ったら、興奮が最高潮に達しました。さいわいほかに誰もいなかったこともあって、わたしは鏡の自分を見つめながら、パンツの脇からあそこをいじって、何度か達しました。

いちどやったら、それからはもう、くせになりました。

決まって下着をつけずに直接ユニフォームを着て、公園を何周かしたり、ときにはコースをはずれて人の多いエリアを練り歩いてみたりして、最後に更衣室かトイレでオナニーする、というのが定番の流れでした。

でも、慣れってこわいもので、だんだんそれだけじゃ満足できなくなってきました……。あるときコースから公園の外へ出て、外周をぐるっと一周、走ってみたんです。

そうしたら、横を人や車がかなり通っていくし、車道を挟んだ向かいには家とかお店もあるし、隣が公園だとはいっても、ほとんど町のなかを走ってるような感覚で、それまで以上に興奮しました。公園以上に人の視線も感じて、どろっどろに濡れました。途中、いつそもうこのまま公園を離れて駅前あたりまで行っちゃおうかとも思ったけど、さすがに目立ちすぎるし、知ってる人でもいたら確実に変なうわさが流れるだ

ろうしって考えて、それは思いとどまりました。

なんとか悪目立ちせずには町のなかを走る方法を考えてたどりついたのが、隣の市で開催されるマラソン大会でした。

いちばん短いもので五キロの部があつて、それだったら最近けっこう走って体力もついでるし、問題なさそうに思えました。

さつそく申し込んで、次の月の本番までは、練習も兼ねて引き続き公園での露出ジョギングを続けました。

当日もいつものように素肌ユニフォームを着て、上からシャツとショートパンツを穿いて、電車で会場へ向かいました。そのころはだんだん、ふだんでも脚を出すような服装をするようになってたんです。すぐエッチな気分になっちゃうので大学にはそういうカッコしていかないようにしてますけど。

会場近くの更衣室で上に着ていたものを脱ぐと、スタート位置まで向かいました。

(さすがにやりすぎだったかな……)

自分の胸を見下ろして、わたしはぞくぞくしながら思いました。

なかなかない機会だから、この際もうとことんやりきってやろう、なんて思って、

当日はユニフォームの上も下も、もとからついていた裏地をぜんぶ切り取っていったんです。

それでじかに着ているので、大きな胸には両方とも、ぷっくりと乳首の形が浮き出してしまっていました。ちらちら視線を感じつつ、あそこはとつくに大洪水でした。

いよいよ大会が始まり、ごくごくふつうの町のなかを、裸に薄い布を貼りつけただけのカツコで、わたしは走り出しました。

もつとも、目的はあくまで露出です。本気で走るつもりなんて、最初からありませんでした。ゆっくりと、たっぷりと、外の空気を肌を受けて、町の風景をながめながら、それと自分のあらゆるない姿との対比をオカズに、さわらないオナニーを人前で堪能することだけを考えていました。

しばらく走るうちに汗がどんどん出てきて、ちらりと見れば予想通り濡れたユニフォームは透けてきてて、ぴっちりとは貼りついた乳房のかたちや肌の色はもちろん、勃起したふたつの乳首まで、あからさまに透けて浮き上がっていました。

(こんなのもう、ほとんどおっぱい丸出しみたいなものじゃん……)

そんなものを縦横に大きく揺すりながら走っていたら、目立たないわけがありません

ん。沿道で応援する人も、近くを走る人も、男の人はみんなわたしを見ていました。

どんだんたまらなくなってきて、わたしは人が少ないタイミングを見計らって、靴紐を直すふりでその場にしゃがみ込みました。そうして、パンツの布をお尻に食い込ませて、片方のお尻をほとんど丸出しにしました。それから、あそこにも布を押し込んで、こっちも片方だけ大陰唇をはみ出させてしまいました。

(ぜんぶ見て……)

そしてふたたび、ゆっくりと町のなかを走りだしました。

むきだしのお尻に、あそこのはじまりに、じかに空気がふれる強烈な感覚。

まわりからの視線も、あからさまに強くなりました。

(見られてる……おっぱいもお尻も、はみ出たあそこも見られてる……)

つづきは製品版で
お楽しみください

■サークル「破滅乱淫オーガズム」作品一覧

*2024年8月現在

◎既刊

- ① 委員長・静井莉子の露出自慰日記（優等生のカゲキないキぬき）
- ② ロリのふりして脱法露出！ 合法ロリでも外で脱いだら違法です!!
- ③ 露出体験告白1 イキすぎた公開絶頂
- ④ 着衣女性×露出男性 勃起見せつけ体験集1
- ⑤ 時間停止能力を手に入れて露出オナニーを満喫してたら人生終了しちゃった話
- ⑥ 露出体験告白2 痴女たちの全裸淫戯（全裸になりたいわたしたち 露出体験告白2）改題）
- ⑦ 身動きできない満員電車でロリたちに勃起を勝手に出されて射精させられた話
- ⑧ イメージビデオに出演したら挿入がないだけでほぼAVみたいな撮影だった話
- ⑨ 着衣女性×射精男性 勃起見せつけ体験集2

◎近刊

＊男は誰もがチンポの虜 兜合わせ体験集

＊怪淫譚 心霊絶頂体験集

＊露出体験告白3 公然のイキ恥さらし

＊娘がアダルトライブチャットをしていたのでエロirikエストをしまくった話

(近刊の発売順は変更になる場合があります)

★各電子書籍ストア、ダウンロード販売サイトにて発売中!

(ストア、サイトによっては規約の関係上、一部扱いのない作品があります)